

富士宮高校会議所プレゼンツ
『宮フォトコンテスト』
入賞作品決まる



富士宮プラチナグランプリ賞「私の部屋の富士山」飯村建成さんの作品



富士宮シルバーグランプリ賞「雲上の富士」若林清美さんの作品



富士宮市内の5高校の域振興や地方創生・商店街再生・地域ビジネスの活性化を目的として、富士宮高校会議所が主催する「富士宮フォトコンテスト」の入賞作品を決め、発表した。

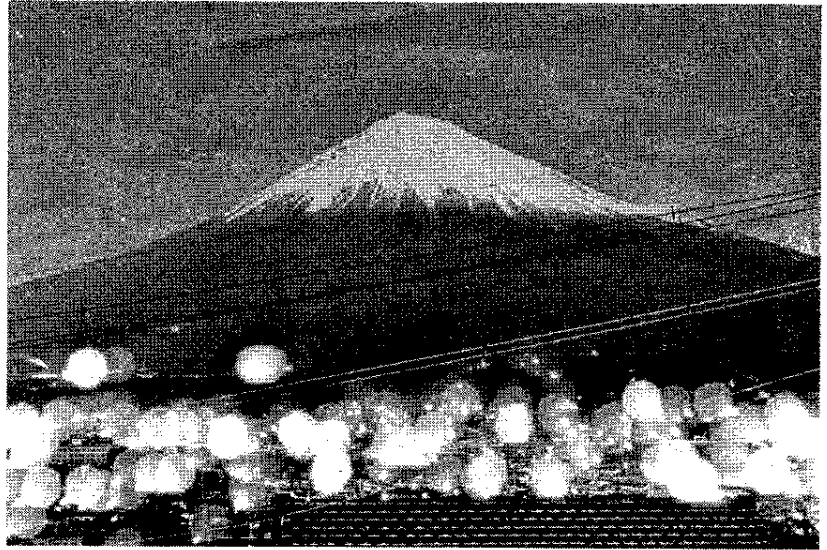
同フォトコンテストは、「あなたの思う富士宮を写真に撮って応募して下さい」と呼びかけて催されたもので、応募作品は16日から25日まで催された「まちなかアートギャラリー」で本館(事務局)の西町レトロ館に展示公開された。

5月から6月9日まで、の募集期間に多くの作品が寄せられ、厳正な審査の結果、入賞作品が次のように決められた(敬称略)。

▽富士宮ゴールドグランプリ賞「元日の田貫湖」佃葉子
▽富士宮プラチナグランプリ賞「私の部屋の富士山」飯村建成
▽富士宮シルバーグランプリ賞「雲上の富士」若林清美

▽予選通過者「赤池秀貴、朝比奈高雄、新井満里奈、伊藤須美子、白井史、遠藤朋香、興津陽子、歳田園子、西原強、吉野明日香、吉野敦巳。表彰は、22日(土)午後2時から西町レトロ館で行われる。結果は、富士宮高校会議所ホームページ及び西町レトロ館にて2日まで展示された。

▽富士宮ゴールドグランプリ賞「元日の田貫湖」佃葉子
▽富士宮プラチナグランプリ賞「私の部屋の富士山」飯村建成
▽富士宮シルバーグランプリ賞「雲上の富士」若林清美



富士宮ブロンズグランプリ賞「幸 富士」有賀和子さんの作品

富士宮フォトコンテストは、5月から6月9日まで、の募集期間に多くの作品が寄せられ、厳正な審査の結果、入賞作品が次のように決められた(敬称略)。

▽富士宮ゴールドグランプリ賞「元日の田貫湖」佃葉子
▽富士宮プラチナグランプリ賞「私の部屋の富士山」飯村建成
▽富士宮シルバーグランプリ賞「雲上の富士」若林清美

西富士図書館

西富士図書館は22日午後2時〜3時30分まで、多目的ホールで創作あそび「恐竜の卵を作ろう」を行う。

対象は小学生と保護者、高学年は子どもだけでも可、定員は10組20人程度(先着順)。持ち

物にエプロン、タオル、はさみ、石こう・水・風船・絵具などを使うので、汚れてもよい服装で参加する。

水に石こうを入れて溶かし、ペットボトル等の空容器の中に入れる。ふくらませた風船の中に、溶かした石こうを入れ、口を閉じる。風船の中の石こうが均等に固まるま

おいしい精米 配達します 岡重株
ひばりが丘698 0120-26-8036

▽4日 淀橋区民館 車場(10時〜10時30分) 西保育園(10時45分〜11時30分) あすなろ園(9時45分〜10時15分) 粟倉保育園(10時30分〜11時) 富士根北小学校(14時30分〜16時) 人穴小学校(巡回休止)

を高める一助及び「富士宮まちなかアートギャラリー」の賑わい創出に努めたのではないかと認める。事務局長の時田定則さんは語ってもい

富士中央青果市況

| | |
|-------------|-----------|
| 白菜(15kg) | 1080-1944 |
| キャベツ(10kg) | 324-1188 |
| レタス(5kg) | 648-1296 |
| キュウリ(5kg) | 108-1944 |
| トマト(4kg) | 108-1728 |
| はねぎ(1束) | 5-86 |
| 大根(10kg) | 864-1620 |
| 人参(10kg) | 864-1620 |
| パレイショ(10kg) | 108-3024 |
| 生シイ(100kg) | 32-162 |
| 玉ねぎ(20kg) | 108-2808 |
| ほうれん草(1束) | 5-86 |
| もも(5kg) | 1620-5400 |
| ふじ(10kg) | 4320-5400 |
| デラウェア(2kg) | 2160-4320 |
| ハウスみかん(5kg) | 3240-7020 |

文藝

あまづら短歌

うしろ香に手はすやすやと眠りて母親器用にスマホ楽しむ 竹川 英子
干し物をとり込めて野すみれの濃き紫の花に屈めり 伊藤和子
桜咲き笑顔で迎へた門出の日大きな團扇小さな体 熊谷 昌子
庭中の牡丹の蕾ようやく膨らみて穏かなりし春の時雨日 和田 芳子
暖かき春の日差しに誘われて薔薇の蕾は花色見せたり 山田 弘子
楽しみの桜の季を待つ我は心なみぬ普見上げて 保坂 邦子
八十四歳となりし日の夜は熱海市のホテルで夫にワインで乾杯 赤池智恵子
竹の子を御飯煮物に炊き込みぬ飯卓は春の香りに満ちあふる 杉山 享子
診察を待つ間に輪間はれしを負目のごとく九十歳と言ふ 小松 和子
庭先の石楠花の花枝揺れ開花に日柄四方を朱に染め 時田定則
稜線はやはらぎ見ゆる雪の富士躊躇ひもなく季はうつろふ 渡辺美津子
幾春を爛漫と咲ける桜花伊豆高原におのす人寄る 松井 正枝
五人目の孫の入学たちに導びかれ日々かきこき 松村 静江
女の子 桜散り若葉耀よう板の間に毛虫の袋今し破けむ 中村八重子
庭先のサクラソノの花咲きいでぬたのしく教える 友井八千代
白花七つ 夏になり大玉トマトにかぶりつくその翁遊んで今年夏は夏来す 持田 和子
神に鳥帽子かぶりて弓矢持つ頼朝しのぶ草鹿の式 小川 秀則
はらりと花びら散らす雨後のさへう木下を淡く 水瀬千枝子
紅に染め